

テーマを定めた調査について

○テーマ 「高齢者の孤立・孤独対策について」

○調査の目的

生駒市の高齢化率(2026年6月1日現在)は、人口11万5,533人に対して、30.14%(3万4,817人)となっており、後期高齢者だけに絞って見ても、18.6%(2万1,477人)に達している。

そのような状況下、特に社会的接点が希薄な高齢者といかにつながり、必要な時に必要な支援の手を差し伸べていける体制を構築できるかが課題となる。

今回の調査では、まず本市の実態をつぶさに把握するとともに、先進地の取組を視察し、本市の対策に反映していくことを目的とする。

○調査方法とスケジュール

▽7月～8月	本市の状況調査を行うため担当課へのヒアリング
▽10月～11月	先進地視察
▽11月	調査報告のとりまとめ

テーマを定めた調査について

○テーマ 「体育施設（体育館）の複合化、集約化について」

○調査の目的

全国的にインフラの老朽化、施設の老朽化が問題になる中で、生駒市も例にもれず生駒市総合公園体育館は前回の奈良国体の時期（１９８３年）に建築されており、築年から４３年が経過し、地盤沈下の影響からか躯体にも大小の劣化があるとの報告も受けている。

また、奈良県において、２０３１年には第８５回国民スポーツ大会、第３０回全国パラスポーツ大会が開催予定であり、生駒市においてもいくつかの競技の開催が予定されている。

施設の老朽化が進む中で、施設整備には課題が多くあるが、数年後には大きな大会も控えており、市としても５０年先の生駒市内のスポーツ環境の整備をどうしていくのかをしっかりと考える時期にきている。

数十年先を見越して、また人口減少や少子高齢時代の中で、公共施設をどう維持管理、また集約、減らしていくのかファシリティマネジメントを進めることは急務であると考えます。

全国的には公共施設全般、体育施設も施設集約化・複合化を進めることが主流になっていると思うが、委員会としては主に体育施設に主眼を置き、ファシリティマネジメントの観点で先進地視察をし、ハード面、ソフト面で複合化・集約化等の進め方を調査したい。

○調査方法とスケジュール

- | | |
|---------|---|
| ▽ 7月頃～ | 担当課ヒアリング
(生駒市の体育施設の状況、ファシリティマネジメントの状況) |
| ▽ 8月頃～ | 生駒市内の体育施設の現状確認（現地視察） |
| ▽ 10月頃～ | 先進地視察 |
| ▽ 2月 | 調査報告のとりまとめ |